



ゆ〜かい〜ぶす 25号

兵庫高等学校第3学年

What makes perfect ?

学年付 Y. M

67回生の皆さん、初めまして。英語科のMです。A先生の後を受け、2学期から1組・3組～6組のリーディングとライティングの授業を担当させていただくことになりました。どうぞよろしくお願ひします。授業やHR、行事、部活動などで皆さんとお会いするのを楽しみにしています。

さて私は兵庫高校に来て以来、なぜか3年生と御縁があり、60回生から67回生までずっと3年生の授業に行かせていただいています。そのため、ここ数年は常にセンター試験の問題に取り組み、国公立大学・私立大学の2次試験の長文読解や英作文、面接・小論文の問題を解き続けてきました。その中で自分なりにつかんできた、取り組み方のノウハウや学び方のコツ、解法のポイントなどを、皆さんにできる限り伝授していきたくと思っています。

Practice makes perfect. (練習や実践が完璧を作る) ということわざがありますが、いくら練習を重ねてもミスは避けられません。でも、そのミスを最小限にしたり、致命的なミスにしないように更に練習を積むことはできます。ミスをすることで自分の理解度がチェックでき、次にどうすれば更に一段上がることができるのかに気づきます。言い換えれば **Mistakes make perfect.** とも言えるのです。

これから皆さんは問題演習中心の学習になると思いますが、決して間違いを恐れず、できない点はしっかりと受け止めて補強し、次に別の場面で出てきた時に同じミスを繰り返さないように自らのグレードアップをめざしてがんばって下さい。



シリーズ

針路 **しんろ** 進路 の先生

3年生になって、授業や個人的な進路相談などで随分お世話になっている先生方。上記の掛詞の意味、わかりますよね。様々な場面で的確なアドバイスを下さる兵庫高校〈進路指導部〉の先生方に登場していただきます！

3年生の2学期

進路指導部 T. T.

もう3年生の2学期になってしまいました。早いものです。もちろん皆さん方は今までも懸命に学習に取り組んできたとは思いますが、その取り組みを2学期以降も是非続けていきましょう。私自身は高校3年生のこの時期、耳を患ってしまい、そのために耳鼻科に通わなければならない、学習の時間が削られてかなりあせっていた記憶があります。だから、皆さんも、学習はもちろん大切ですが、体には充分気を付けて下さい。

ただ、そこは兵庫高校生、学習だけの毎日では息が詰まってしまう。2学期には体育祭が行われます。おそらくこの体育祭が、自分たちが参加する、高校生活最後の大きな学校行事ではないでしょうか。しかも兵庫高校には、『それいけ3年生』という、3年生のための種目があります。ここははめをはずさない程度にしっかりと仕掛けて下さい。期待しています。

それで3年生のみんなにお願いします。『それいけ3年生』で使うCD-Rは、必ずファイナライズ（再生可能処理）をしておいて下さい。一般のCDデッキで、きちんと曲が掛かることを確認してから提出して下さい。

昨年度、1クラスだけファイナライズされていなくて、本番に再生出来ないCD-Rがありました。今年度こそ全クラスきちんと流してあげたいので、よろしく願い致します。

私が兵庫高校に来てから1年と5ヶ月の間、私なりに兵庫高校の放送関係の改善と充実を図ってやってきたつもりですが、正直まだまだだと思います。ツイッターか何かで、『兵庫の放送部はやっぱりしょぼい。』とかつぶやかれていたとも聞いています。放送部顧問の私としてはやはり悔しいし、いつか何とか見返してやりたいと思っています。

そのために、何を、どのように、いつまでに、改善していけばよいのかを、自分なりに日々考えて過ごしています。いつか、『さすが兵庫の放送部！』って言われることを目標にして…。だから皆さん方も、『さすが兵庫の67回生』って言われるように、最後までしっかり計画的に学習を続けていきましょう。

期待しております。

∞∞∞

いよいよ最後の学校行事（体育祭）が近づいて来ました。各クラスの意気込みのほどは？

∞∞∞∞∞

7組 A. K.

私たち3年生にとって、高校生活最後の体育祭が近づいてきました。

2学期に入り、体育委員としては、それぞれの種目のメンバー決めや、ゼッケンの準備などが始まり、またクラスでも、それいけ3年生の練習や学級旗制作が始まったりと、少しずついろいろなところで体育祭の準備が進められていて、本番がとても楽しみです。

少しずつ行事が終わっていくのは、悲しいですが、学年演技やそれいけ3年生で、学年全体やクラスでの団結力が後輩に見せられるような思い出に残る体育祭になればいいと思います。

1組 Y. T.

高校生活3回目の体育会!!・1組は人数が多く、種目を決めるだけでも、苦労しましたが、全員で声を枯らして応援すれば、どこの



クラスにも負けない、活気に満ち溢れたクラスになるはずです！

2年前初めて先輩方のそれいけを見て早く私も踊ってみたいと思っていたので、みんなでどんな作品を創り上げることができるのか楽しみです。見ている人たちに感動が届けられるように、46人全員の心をひとつにして素敵な思い出にしたいです。

3組 T. S.

3組にはダンス部がないし、団結力もなさそうで、「それいけ3年生」の出来が学年で一番不安やと思われているかもしれませんが、でも、衣装や配列など考えてくれる人、みんなに指導するために事前にダンスを練習する人がいて、クラスの間みんなもそのメンバーに影響され、休み時間になると、ちょっとした振り付けを覚えようと、YouTubeを開き、弁当片手にダンスの確認をしたりと、クラスの士気は学年1だと思います。ダンスの完成度より、みんなで楽しく仲良く踊ることを目標に体育祭までがんばりたいです。この調子で高校最後の体育祭は去年一昨年よりも楽しくできたらなと思います。

3年生にとって最後の体育祭。楽しみにしてる人がたくさんだと思います。僕はとても楽しみです。去年は総合優勝してクラスみんなで喜びました。今年も去年みたいに総合優勝して、思い出に残るような最後の体育祭にしたいです。

「それいけ」では夏休みに勉強時間を削って練習してきました。クラスで一致団結し、最高のものにしたいです。出場種目には全力で取り組み、悔いなく笑って終えられたらいいなと思います。

4組 S. F.

わたしたち4組は最後の大きな行事である体育祭に向けて、文化部の多さを活かして、夏休みから学級旗製作や〈それ行け3年生〉のダンスの練習に取り組んできました。

また競技面では4組持ち前である団結力の強さを活かせばいいなと思います。

思い出に残せるような素晴らしい体育祭にできるよう、時間をかけて作り上げた学級旗や4組らしい個性豊かなダンスで体育祭を盛り上げていきたいと思います。

米 俵

6組 T. K.

米俵と聞くと、皆さんは何を思い浮かべますか？ホカホカの白米でしょうか？あれって美味しいんですね。でも、僕は違います。僕が連想するのは おろせません勝つまでは。僕は今年はおろせません勝つまでは(以下 おろ勝つ と略す)を出場しようとは思いませんでした。何故なら僕はこの夏休み、あまり身体を動かさなかつたので、もうあの灼熱の中であの俵を長時間持っているなど、考えられなかつたからです。しかし、友人は僕の出場を後押ししてくれました。そして僕は おろ勝つへの出場を決めました。

僕は去年も おろ勝つへ出場しましたが、早々に勝つまでにおろしてしまいました。ですから今年のおろ勝つは、去年以上に頑張りたいと思います。そして最後になりましたが、それ行け三年生も頑張つて、生涯最後の体育会を最高のものにしたいです。

受験も近づき、徐々に焦りを感じ始める時期になったものの、クラスみんなが嫌がることなく合間を縫って体育祭の練習に励む姿は、憧れの先輩方を見て僕たちがひしひしと感じてきた"兵庫高校らしさ"ではないかと思えます。

正直、2組は運動が得意なクラスではありません。しかし合唱コンクールで優勝した団結力、和気藹々とした雰囲気はこの体育祭の様々な場面で発揮できるはずですよ。

そうした雰囲気や体育祭へ取り組む姿勢を後輩たちに見せることで、先輩方から受け継いできた"兵庫高校らしさ"という良き伝統を、この最後の学校行事でしっかり伝えたいと思います。

教室の窓から・・・

其の一 古典講読

この時期の3年生の授業内容はどんなものなのでしょう。ちょっと覗いてみませんか。

古典文学最高峰の『源氏物語』を読んでいます。やはり難解！でもおもしろい！（と思っているのは教師だけか・・・）

〈藤壺の宮の入内〉をより深く理解するために次の文章を紹介します。

天皇にとって愛や性は天皇個人のものではなかつた。最も大切な政治的行為だったのだ。

こうした当時の常識に照らせば、桐壺帝が「いとやんごとなき際にはあらぬ」更衣に没頭したことは、掟破りともいふべき許し難い事件だった。皇子誕生は政界の権力構造に係わる。実家の繁栄を賭けて入内したきさきたちが怒るのは当然のこと、「上達部・上人」など政官界の上層部が動揺したのも、これが自分たちの権力を揺るがしかねない政治問題だったからだ。

さて、『源氏物語』が書かれる直前、時の一条天皇には心から愛する中宮定子がいた。清少納言が仕えた、明るく知的な中宮である。だがその家は没落していた。そこに入内してきたのが、時の最高権力者藤原道長の娘彰子である。定子は23才、天皇は20才、そして

彰子はまだ 12 才。歳の差もあって気が進まない天皇だが、道長や貴族達の手前、定子よりも彰子を重く扱わなくてはならない。その苦しい胸の内は貴族達の日記や『栄華物語』『枕草子』などから知ることができる。結局定子は翌年、皇子を遺して亡くなった。辞世は「知る人もなき別れ路に今はとて 心細くも急ぎたつかな（知る人もいない世界への旅立ち。この世と別れて今はもう、心細いけれど急いで行かなくてはなりません）」。一条天皇は悲しみにくれた。

『源氏物語』の執筆が開始されたのは、この出来事のわずか数年後だ。いうまでもなく、桐壺帝は一条天皇に、桐壺更衣は定子に酷似している。更衣の辞世「限りとて別るる路の悲しきに いかまほしきは命なりけり（もうおしまい。悲しいけれど、この世と別れて旅立たなくてはなりません。私が行きたいのはこんな死出の道ではない、生きたいのは命なのに）」は定子の辞世と言葉が通う。また遺児の光源氏を天皇が溺愛し後継にしたいと願ったことも、定子の遺した息子・敦康親王に対して一条天皇が抱いていた願いと同じだ。

紫式部はドラマチックな史実を効果的にすくいあげて、この物語を構成したのだ。だがそれは面白さを狙っただけではない。一条天皇の苦しみは、一人の男性として抱く愛情と、天皇として守るべき立場とに挟まれての人間の葛藤だった。紫式部の描く桐壺帝も、実に人間的だ。人間を見据え、天皇という存在までもリアルに描く。それが『源氏物語』だといえるだろう。

こうした『源氏物語』は、定子を悼み天皇の心を癒す力を持っていた。当の一条天皇がやがて『源氏物語』の愛読者となったこと、これは紫式部自身が『紫式部日記』に記している。

（『絵巻で楽しむ源氏物語～後宮における天皇、妃たちの愛し方』 山本淳子著から、一部省略）

季節の言葉

白露 はくろ

9月8日

白露とは、大気が冷えてきて露を結ぶころのこと。ようやく残暑が引ひいていき、本格的に秋が訪れてきます。

◆◆◆◆これからの予定◆◆◆◆

- 9/13(土) 土曜教室
- 9/16(火) 3回全統マーク・記述模試
申し込み締め切り
- 9/19(金) 体育祭予行 2限まで授業
**センター志願票&コピー・下書き
提出締め切り**
- 9/24(水) 駿台オープン模試
申し込み締め切り
- 9/25(木) 河合塾オープン模試
申し込み締め切り
体育祭
- 9/26(金) 体育祭予備日①
一斉委員会
- 9/27(土) 土曜教室・数学特別授業
- 9/29(月) 体育祭予備日②
- 10/3(金) 校外学習
- 10/11(土) 土曜教室
- 10/15(水) 月曜日の時間割
- 10/16(木) 記述模試 16:05～
- 10/18(土) 記述模試
- 10/20(月) 中間考査
- 10/24(金) 21(火) 保護者会
- 10/27(月) 定期戦壮行会
- 10/29(水) 秋季定期戦

季節の言葉

中秋の名月 ちゅうしゅうのめいげつ

旧暦八月十五日の満月は、中秋の名月。（文月を孟秋、葉月を中秋、長月を季秋ともいう）今年先日の9月8日でした。ちょうど里芋の収穫の時期にあたり、豊作への感謝を込めて芋をお供えするならわしも。

満月の前後の呼び名は、十三夜小望月（こもちづき）、十五夜、十六夜（いざよい）、立待月（たちまちづき）、居待月（いまちづき）、寝待月（ねまちづき）、更待月（ふけまちづき）など。

一夜一夜の月に名をつけるほど、月が身近に、愛でたい存在としてあったのでしょう。